

# 委員会レポート

## 予算特別委員会

委員長：瀬戸口和幸  
副委員長：久保田恒憲  
委員：全議員  
(議長・オブザーバー)

### 委員会審査状況 (定例会付託議案)

一般会計について、平成22年度補正予算及び、平成23年度予算を3日間にわたり審査を行い、一部条件を付して可決とした。

**【委員会の審議内容】**  
①職員扶養手当について、受給資格認定は職員の内覧はもちろんのことだが、職員への要件の具体的な提示等の必要性を指摘。

②公有財産は、必要性を十分検討の上購入し、また遊休地についてはその活用と処分について計画的かつ早急に取り組むべき。  
③ケーブルテレビ施設の運用、特に設備の維持管理については市と指定管理者との間で責任分担が明確になる協定を結ぶべき。  
④東日本大震災に鑑み、吉岐市のハザードマップ(災害予測図)を見直すべき。  
⑤老人憩いの家等、バリアフリー化は計画的に実施すること。  
⑥認定漁業者制度は、漁業者の支援とともに後継者の確立につながるような制度の構築を。  
⑦中学校の統廃合に伴う教育用のパソコンリース料の精算金について、契約内容等を明らかに精査した後、その執行に当たっては適切に措置するよう条件を付した。



3/14・16・18の3日間、開催された予算委員会の様子

## 総務文教常任委員会

委員長：町田 光浩  
副委員長：市山 和幸  
委員：市山 繁、中田 恭一  
深見 義輝、音嶋 正吾

### 委員会審査状況 (定例会付託議案)

議案10件の付託を受け、審査の結果、全議案を可決とした。

※行政組織の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定  
部制施行に伴う関係条例の名称変更を行う。  
※附属機関設置条例の一部改正  
博物館の開館に伴い一支部博物館等整備推進協議会を廃止し、老

人保健福祉計画を高年齢者福祉計画へと変更。  
※特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償条例の一部改正

農業法の改正により農業委員報酬を改定。また

中学校規模適正化に伴い、生徒数に応じて学校医等の報酬を二段階に改正。  
※市職員の給与に関する条例の一部改正

休日・夜間救急手当の支給対象と支給額を見直す。

※防災行政無線施設条例の一部改正  
ケーブルテレビの整備により防災行政無線の一部を廃止するため改正。

※土地の取得について  
原の辻遺跡の新たな国指定区域の土地を取得。

※平成23年度三島航路事業特別会計予算  
歳入歳出予算総額1億2千374万円

## 議会改革検討特別委員会

吉岐市議会の改革に関する調査をするため特別委員会を設置し、実効性のある議会基本条例の制定や、議員定数の見直し、ケーブルテレビの議会中継のあり方等について審議する。

委員長 小金丸益明  
副委員長 町田 光浩  
委員 町田 正一  
今西 菊乃  
市山 和幸  
鶴瀬 和博  
久間 進

# 厚生常任委員会

委員長：町田 正一  
副委員長：今西 菊乃  
委員：小金丸益明、神原 伸  
中村出征雄、豊坂 敏文

## 委員会審査状況

### (定例会付託議案)

議案15件の付託を受け、審査の結果、議案14件を可決し、1件を否決とした。

### 【委員会の所見】

※市民病院及びかたばる病院診療費、使用料及び手数料徴収条例の一部改正を否決  
(否決理由)

条例改正の内容は「分娩料」について、県内各医療機関が時間内

診療の外に時間外・休日・深夜等に別料金を設定していることで、市民病院も同様に分娩料金を別途料金を新設するというもの。これについては、出産一時金の補助額が39万円を42万円にアップされるため、出産費用も個人負担がない様にこの範囲で改訂されたい。

時間内と時間外(休日・深夜含む)の区分の別途料金設定については認めるものの、これも出産一時金の範囲とされた。ただし、別途個室を希望される方は、その範囲ではない。という意見を付して否決とした。

※国民健康保険特別会計予算について  
問題は22年度に5.3%の保険料をアップしたにもかかわらず、基金は6億からさらに2億9千万円まで減少した。  
理由は、所得低下による

る保険料の減少と、高額医療費の増加であり、このままでは23年度中にも基金残高が0円になる事も予想される。  
市民の方々も特定検診の受診等、是非予防医療に努めてもらいたい。  
※介護保険料について  
本市の介護保険料は県内でも低い方である。これは介護を実施する施設そのものが少ないためであるが、24年度の改訂時には保険料アップはやむを得ないと思われる。

# 産業建設常任委員会

委員長：鶴瀬 和博  
副委員長：久間 進  
委員：瀬戸口和幸、大久保洪昭  
田原 輝男、呼子 好  
久保田恒憲

## 委員会審査状況

### (定例会付託議案)

議案13件付託を受け、採決の結果、委員会の意見を付して全議案可決。

### 【委員会の所見】

本市の多くの公共施設や観光施設の管理運営については、多額の維持管理費がかかっている。今後は、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、指定管理者制度を導入し、経費の節減等を図らなければならない。指定管理者の選定に当たっては原則公募となっており、民間に出来るものは民間へ移行すべきだが、離島という背景や雇用の場としての役割も多く、こ

れまでの実績から非公募とする場合が多い。

また、制度導入により弾力性や柔軟性のある施設の運営を行うことが可能となり、その施設の利用に際して料金を徴収している場合は、得られた収入を本市との協定の範囲内で管理者の収入とすることができ、施設の修理や費用負担など協定内で細かく制定する必要がある。

管理者指定後は、経営状況など随時報告を受け、経営改善に向け、訪問指導に努められたい。

認定漁業者制度は、基幹産業である水産業の振興と、効率で安定した魅力ある漁業経営を目指す意欲ある漁業者を積極的に育成するために創設されるもので全国初の制度。今後、各漁協、関係機関と十分協議をされ、早急に制定すべき。

## 現地視察・調査

### (イルカパーク)

ゴミなど誤飲によりイルカが死亡し現在、3頭しかおらず、原因解明と対策が急がれる。あわせてイルカの早期購入と現状での魅力向上に向け、飼育スタッフと十分協議し、管理改善、情報発信に努力されたい。

その他、街なみ環境整備が進められている勝本浦の「あほう堀」及び、新郷ノ浦港線と菟田院圃場整備事業の進捗状況を視察した。

